

FAX 019-684-2227

「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（9月末現在）

「10・8盛岡スタンディングデー」を実施します

憲法をいかして、戦争に巻き込まれない、社会保障を充実して誰もが安心して暮らせる社会、国民の命と生活を守る政治を求めて、アピールしましょう！（距離を保ち、横断幕やプラカードを持ってアピールします）

10/8(金)

＜プラカードやプラスター等お持ちの方はご持参ください＞

◇川久保病院前交差点付近

10:30～11:00

◇盛岡南イオン東側交差点(コナカ・幸楽苑等あり)付近 11:30～12:00

※参加の方はどの場所に参加するか、必ず事前に岩手県生協連までご連絡ください。



コラム

— 呆れた！「第100代首相選ばれる見通し」、しかし負けるわけにはいかない！ —

今政権与党、9月29日の投開票で自民党の総裁選挙が真っ盛りです。マスコミは同党の「広報宣伝部」になったかの様相です。その報道の中で何の疑問もなく、「10月4日召集される臨時国会の衆参両院本会議で第100代首相が選ばれる見通しだ」と語られていることは、何とも異様としか思われませんが如何でしょうか。

明治時代・大日本国憲法時から数えて「第100代」という意味でしょうか。しかし、戦後の今は「日本国憲法」下の時代。同じ内閣総理大臣という言葉を使っても、全く違うものです。前者は「神聖ニシテ侵スベカラズ」の「主権在天皇」下の「総理大臣」であり、後者は「主権在民」下のものであります。原理が全く相違するのです。菅首相は日本国憲法下、「第34代の総理大臣」です。

しかし、このような状況が起こるといつも決まって「明治時代・大日本国憲法」下の「総理大臣・伊藤博文」から「何代」と繰り返して言われています。そこには「日本国憲法は無効な憲法」という意図、だから「日本国憲法はなくし、大日本国憲法に回帰する必要がある」との意図が込められています。例えば、東京都知事から衆議院議員復帰した石原慎太郎元議員は当時の安倍首相との国会審議で、この議論を展開していました。勿論、菅首相は日本国憲法の改正論者であっても、即座に「日本国憲法は無効」とは答弁せず、言を左右した答弁をしていました。「大日本帝国憲法」へ復帰しようなんて。

これは、何とも恐ろしい「日本国憲法改正論」ではないでしょうか。

しかし、菅首相は来る10月4日の臨時国会で新しい「総理大臣」にはならないと言います。次期総理大臣になれなくなっているのは、「安倍・菅政治の行き詰まり」だと「情勢論通」が言っています。

私たち「九条を守る会」は、「安倍・菅政治に負ける訳にはいかない」との思いで毎月9の日を中心に「平和憲法を守れ！」と街頭などで声を挙げて来ましたが、「勝った、然し自公政権打倒の第一段階！」と思います。如何でしょうか？(T)

「10月の街頭宣伝署名行動」⇒ 盛岡市大通・野村證券前では行いません

毎月実施している「9の日宣伝」は10月8日に予定していましたが、「緊急署名岩手の会盛岡スタンディングデー」実施のため、大通・野村証券前では行いません(詳細は上部に記載)。ご都合のつく方は、盛岡スタンディングデーにご参加ください。各団体・組織の皆様にも、お知らせをよろしくお願いいたします。